

一般社団法人日本書字文化協会機関紙

月刊 書字文化

No. 3

2012 8 月号

発行

一般社団法人日本書字文化協会

代表理事・会長

大平 恵理

〒164-0001

東京都中野区中野 2-13-26

第一岡ビル 3 階

TEL 03-6304-8212

info@syobunkyo.org

《目次》

- ◇盛り上がる夏の総合大会・・・・・・・・・・・・・2
- ◇冬には伝統文化大会・・・・・・・・・・・・・3
- ◇まだ間に合う硬筆コン、毛筆公募の部・・・・・・・・3
- ◇大会課題のポイントを初公開・・・・・・・・・・・・・3
- ◇シリーズ・審査委員に聞く（その2）宮澤正明委員・・6
- ◇書文協とは・・・・・・・・・・・・・8

日中国交正常化40周年記念中国文化祭

席書（毛筆・硬筆）披露に参加しよう！

9月8日 港区・芝公園



日中国交正常化40周年を記念して、駐日中国大使館主催、日本外務省など後援の「2012 東京中国文化祭」が9月7日から3日間、東京港区の東京タワー下、芝公園を舞台

に開かれます。音楽、舞踏、グルメ、太極拳などチャイニーズカルチャーが思い切り楽しめるイベントです。



書文協は日中青少年国際書道展プロジェクトに続き、中国書法学院（劉洪友院長・全日本華人書法家協会主席）と共に文化祭に参加することを決めました。中国は漢字の母国。書文協でも中国の古典の勉強や臨書は上級者の大事な学びの一部です。中国文化祭での席書は「同文の国」の絆を意識することで、

これからの書写・書道の学びに

も大きな効果をうむことが期待されます。

席書大会は、9月8日（土）午後零時半から約1時間半、ザ・プリンス・パークタワー東京（写真は同ホテルから見た芝公園と東京タワー）の大宴会場の一角で開かれます。出場者にはお弁当も用意されますので、初秋の一日を都心の公園とホテルで過ごすのもいいのではないのでしょうか。

席書は書文協ルールで実施。つまり20分間に2枚の作品を仕上げ、自分で1枚を選んで提出します。ただし、コンクールではないので順位はつけません。参加者には実行委員会か

ら参加奨状が贈られ、また作品は月刊書字文化紙上で紹介されます。1回の席書で毛筆10人、硬筆5人が出場、参加希望者が多い場合は抽選により合計40人に限定。何度か繰り返します。

参加費無料。用紙は硬筆（硬筆共通清書用紙Ⅱ書文協Ⅱ）、毛筆（半紙・八ツ切・半切サイズ）とも実行委員会が用意します。書く課題は自由。申込時に課題の文言を届けてください。道具は各自持参です。

問い合わせ・申し込みは書文協事務局（題字下に電話番号があります）へ。申込締め切りは9月4日（火）です。

盛り上がる夏の総合大会

日本の文字文化が危機に瀕する中で、新しい学習指導要領で書写の実用化推進がうたわれ、また伝統文化の一層の尊重が盛り込まれました。書写の実用化のためには基礎となる毛筆、日常的な硬筆双方の発展が必要です。これを受けて書文協は今年度から、毛筆・硬筆のバランスある書写書道の学びを推進する全国書写書道総合大会（総合大会）を夏から秋にかけて、また日本の伝統文化を強くアピールする全国書写書道伝統文化大会（伝統文化大会）を冬に開催します。

総合大会は、小学3年生以下が毛筆・硬筆双方で参加できる「ひらがな・かきかたコンクール」、毛筆に特化して席書と公募の両部門がある「全国学生書写書道展」、年齢制限な

く硬筆チャンピオンを競う「全国硬筆コンクール」の3コンクールで構成されます。



平成 24 年度席書大会の皮切りとなった南大阪大会

冬には伝統文化大会

全国書写書道伝統文化大会（伝統文化大会）は、総合大会と並ぶ大会です。お正月にちなむ全国年賀はがきコンクールと学生書き初め展覧会から成る規模の大きな大会です。

新しい学習指導要領で伝統文化の尊重が強く求められ、また国語科では「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が学びの基本に置かれました。日本の伝統的な習俗に根ざし、また古典、古文に親しむ学習が求められています。新しい「事項」は、話すこと・聞くこと、書くこと、読むことという国語の学びの3領域を支える基礎となるもので、書写はその大事な部分を構成しています。書写も伝統文化をより強く意識した学びとならなくてはいいけません。こうした学びを後押しするコンクールとして開催するのが伝統文化大会です。

いずれの大会も、複数の個別コンクールを一括して開催することで一括広報、募集が可能となり、参加者に書写書道の世界の広がりを実感させることができます。また、子どもら参加者が年中コンクールに追われる状態を避けることも可能となることを狙いとしています。

まだ間に合う硬筆、毛筆公募の部

平成24年度全国学生書写書道展「公募の部」と全国硬筆コ

ンクール専用の要項ができました。学生展は、毛筆書写のチャンピオンを決めるもので、会場に集まって、定められた時間内に作品を仕上げる「席書きの部」と、お教室や自宅で作品を仕上げて応募する「公募の部」があり、今回の要項は公募の部について詳しく説明したものです。（要項希望者は80円切手を貼った封筒に自分の住所を書いて事務局まで申し込んでください）

大会課題のポイントを初公開

第1回全国書写書道総合大会の3コンクールのうち「全国学生書写書道展・席書の部、公募の部」と「全国硬筆コンクール」の規定課題について、大平恵理書文協会長が作成した大会課題の書き方のポイントが初めて公開されました。大会参加が単に賞取り競争に終わらないよう、大会のための練習を通じて参加者に着実に力を身につけていただくためのものです。個人出品者だけでなく、教室指導者にも有効な教材として使っていただけると幸いです。

書文協ホームページに全文がアップされていますが、小紙では毛筆・硬筆の参考例を掲載します。一セット300円（送料込み）で頒布しますので、希望者は事務局まで。

公募の部と硬筆コンクールは締め切りが9月10日。まだ時間がありますので奮ってご応募ください。

⑩ 行書の特徴、点画の連続や変化に注意します

平成24年度 全国硬筆コンクール課題参考手本

大平恵理書

(行書)

各学年を選んで下さい。

学年	氏名	作品
中一・二・三		そを聴きにゆく 停車場の人ごみの中に ふるさとの訛なつかし 泣けどどくくに 北上の岸辺目に見ゆ やはらかに柳あをめる

課題解説

啄木のふるさと

ふるさとは小説や詩歌の重要なテーマであり続けてきた。課題文の石川啄木の2首はその世界をよく表している。

岩手県の寺の子に生まれた啄木は函館、小樽などを転々とした末、文学への志を忘れられず上京し、創作活動に苦闘した。1首目の「北上の岸辺」は郷里を流れる北上川のこと。その優しい緑の岸辺を心に思うときはなつかしさに震えるのだ。

2 首目。停車場にふるさとの言葉を聴きに行くのである。故郷への思いが胸を打つ。貧しさの中で結核を病み、志半ばで27歳の若さで人生を終えた啄木のなかで、ふるさとは、そして文学はどんなに大きな存在だったろうか。

幼年期を洪民村（現在の盛岡市玉山区洪民）で過ごしたが、故郷の美しい自然が心に残したものは大きい。短い生涯に口語を交えた生活詩や三行書きで表す短歌など多くの作品を残した。

* 訛 (なまり)

角川学芸出版
「硬筆文字練習帳（実力養成編）」所収

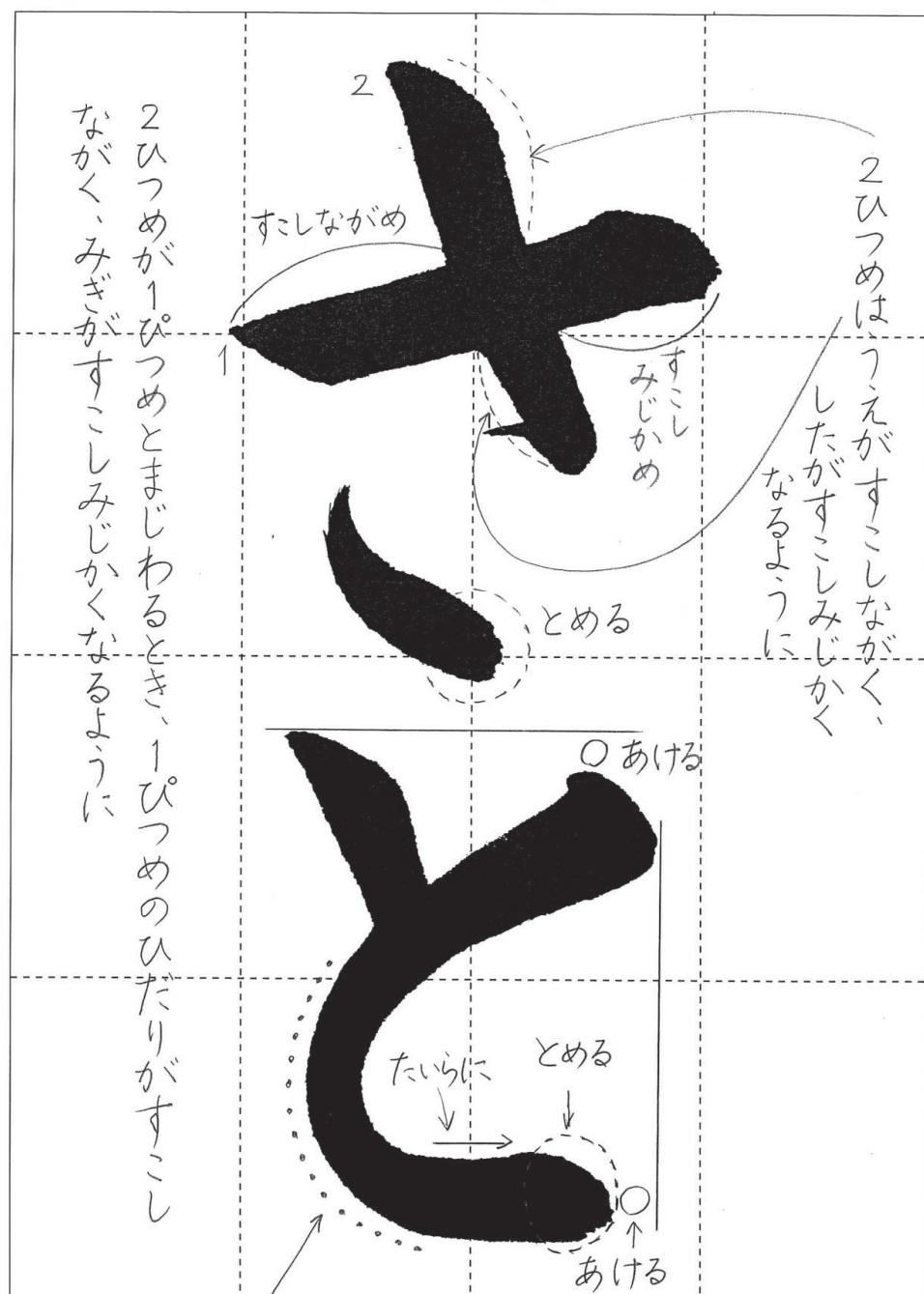
平成 24 年度 全国学生書写書道展 公募の部

幼児・小 1

参考手本

日本書字文化協会

◎ せんのおわりのとめをしっかりとかがきます



大平 恵理 書

まがりをていねいに

シリーズ

中央審査委員に聞く

その2 宮澤正明委員

「甲斐に宮澤あり」といわれる。山梨大学教授、宮澤正明委員は書写書道教育界で知らない人がいない存在だ。その彼が、還暦を記念して7月18日から5日間、初めての個展「墨との語らい」を開いた。

還暦にして初めての個展

JR甲府駅前の山交百貨店催事場。訪ねた日は会期末を翌日に控えた週末とあって大勢の人がつめかけ、教室二つ分ほどの会場は満員だった。その中央で、正明（鷲州）委員はセーラー服姿の一群に囲まれて相好を崩していた。「教師冥利に尽きますね」。昨春まで3年間勤めていた山梨大学付属中学校長のころを懐かしんだ。女子中学生らは、宮澤委員が試合用のゼッケンに名前を書いてあげた卓球部員たちだった。気さくで優しい宮澤先生を囲んだ中学生たちの笑顔が輝いていた。

主に大学の教育現場一筋。大手教科書会社発行の書写、書道教科書の中心的編集者でもある。今度の指導要領改訂では現場研究者を代表する形で中央教育審議会（中教審）教育課程国語専門部会委員として議論に加わった。



「いやー、書写書道の部門では私一人だけが委員で心細かったです。審議には文科省から調査官として長野先生（長野秀章・元文科省初中局教育課程教科調査官）が見えていて、終わった後で『あんな発言でよかったでしょう？』などとお聞きしてご指導いただきました」とエピソードを披露。

「でも、私は指導要領の番人ではありませんからね」と言っ
て笑った。地方から中央を睨む気概がその顔にあふれている
ように感じられた。敬称略。（記事は編集部で構成しました）

——甲府から新宿まで特急で1時間半。ちょうどよい距離
感ですね。山梨はもう長いのですか？都留文科大学の専任講
師でスタートされたわけですが。

宮澤 静岡県の三島で生まれ、長楽町というところで育ち
ました。山梨はもう32年になります。ほとんど毎週東京に出
てますが、遠いとは思いませんね。

——初個展というのは本当ですか。毎日書道展で何度も入
賞し、会員にもなっておられる書家として信じられませんが。
宮澤 本当です。書写・書道教育の研究や実践で終生通す
つもりでできましたから。60歳になって大学院や学部のOB、
学生に背中を押されて開くことになりました。4月からの急
な話だったので大変でしたが、やってみて、本当に沢山の発
見があつてよかったです、と思つています。

——「筆墨と共に自分探しの旅に出る」と書かれた作品が
最後のほうにあります、その解説がまた読めます。今度
の個展用に使った作品がいずれも「自分への決意表明になつ
た」というところですね。そのほかの作品も解説書もユニ
ークで面白かった。書家でもあったお父さんや優しかったお母
さん、二人のお子さんのことも出てきますね。メッセージ性

がとても強くて、全体に（書の詩人と言われる）相田みつを
の個展を観ているような気分になりました。

用美一体の世界を意識せよ

宮澤 いやー、とてもとても。でも自分の言葉で思いを伝
えることが大事ですから。

——先生は、ご自身が理事長をしている全国大学書写書道
教育学会の講演などで「今回の学習指導要領は書写と書道が
のりしろを伸ばしてがっちり手を組んだ」と話されています
が、とても興味のある表現です。

宮澤 指導要領の中学3年生書写の部分で「身の回りの多
様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書くこと」の一文が
初めて入りました。つまり、文字には手書き文字や印刷文字、
デザイン文字などがあるけれど、それぞれに良さがあり、用
途があるということを学ぼうということですね。文字を「審
美」の対象として見ようと言っているわけで、まさに「書」
への誘いですね。また、高校の書道Ⅰでは解説書でも全体に
中学国語科の書写との関連がより明確に位置づけられまし
た。このあたりのことをのりしろといっているわけです。さ
さいなことかも知れませんが。

——いいえ。とても大きな変化であり、その流れの中で私
どもも「書字文化協会」を名乗るようになったわけです。ただ、
書写に特化した団体としてやってきた私どもとして、この「の

りしろ」をどう生かしていくかが今後の課題です。

宮澤 書き文字には、用途の部分と美の部分が分かちがたくあるのです。「用美一体」なのですね。書文協の大平会長が書く文字は、まさに「用美一体」ではありませんか。到達する世界はそうなんですね。ですから、審美の世界の「書」に常に窓を開いておかなければいけません。もちろん、基礎基本がしっかりできなくては話になりませんが、書写として常に審美の「書」の世界を意識していくことは大切なことです。

——ありがとうございます。

次回は東京都小学校書写研究会（都小書研）

元会長、柴田五郎委員です。



書文協とは 旧・日本書写能力検定委員会の二代目理事長・会長を務めた大平恵理、同三代目事務局長・渡邊啓子、指導主任・佐藤貴子らが中心となって、平成24年1月1日にスタートさせました。一般社団法人として公益性の高い運営を目指しており、略称は書文協。東京のJ R中野駅南口ほど近くに本部事務局を置いています。

文部科学省の学習指導要領を遵守した書写、書道の学びを中心にしつつ、また「ことばの力」育成にも力を注いでいます。

「書字」は幅広い文字・ことばの学びを示す用語として教育界では古くから注目されてきました。新しい学習指導要領で書写の学びに「文化」の観点が導入され、また言語活動の充実が大きな教育目標とされました。こうした時代の要請にこたえる形で「書字文化」を団体名に取り入れました。なじみのある言葉として定着するように努力して参ります。

書文協の事業の第一は、書写の学びを中心にした教材や指導法の開発です。本部の付属教育・研究機関として「書写書道専修学院」を置き、中野本部と青梅市に同学院教室を開いています。作文教室も併設して開いており、大人気です。

事業の第二は、全国各地での講習会活動です。全国各地での展開という点では通信教育も重視しています。

そして第三に、これらの学びの手段として「書写能力検定」を実施しています。検定で一步步実力アップを確かめながら学びを進めます。さらに検定の成績で段級を付与し、指導者ライセンスを認める事業も展開しています。

最後に、こうした書写・

書道の学びの励みとするために全国コンクールがあります。夏に「全国書写書道総合大会」、冬に「書写書道伝統文化大会」を開催しています。

